

# 2025年度 自己評価票

2026年3月31日 作成

- ① 各設問の該当項目に レ 印を付けます。その他に事業所独自で行なっている取り組みや工夫している点があれば、自由記述欄に記入します。
- ② 各項目の☆印は重点項目を示します。
- ③ ☆印は2点、その他の項目は1点として計算し、最高8点です。
- ④ 評価は、次の4段階です。 8点～6点 ⇒ A 5点～4点 ⇒ B 3点～2点 ⇒ C 1点以下 ⇒ D
- ⑤ 各設問で用いている用語の説明や、設問の主旨を理解いただき、自己評価に臨んでください。
- ⑥ 次の用語については、特に記載のない限り、次のようにご理解ください。
  - 職員……設問の内容に関わる業務を行う職種の職員をいい、常勤・非常勤の両方を含みます。
  - 研修……職場外で受講する研修、職場内で行う研修（集合型、個別型）の両方をさします。
  - 取り組み……事業として取り上げて取り組んでいない場合でも、そのような状況があり、ルール化されている場合も含みます。
  - マニュアル……体裁や記載内容の濃淡を問わず、設問の内容に関する内容の記載があるものをさします。
  - 手順……体裁の有無を問わず、設問の内容に関する内容についてルール化されているものをさします。

## 1. 事業所運営の基本

### (1) サービスの質の確保

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
1	職員会議	<p><b>職員間において、定期的または随時に情報共有する体制がとられていますか。</b></p> <p>☆ ■ ① 職員全員が参加する会議（職員会議，ミーティング）を定期的実施している</p> <p>■ ② 必要な場合は，職員全員が参加する会議（職員会議，ミーティング等）を随時，実施している</p> <p>■ ③ 非常勤職員にも，日々の保育に必要な情報が伝わる仕組みがある</p> <p>■ ④ 共有された情報は，適切に記録・保存されている</p> <p>■ ⑤ 職員会議に参加できない職員には，会議録の閲覧を行うなど，情報共有する手段を講じている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>各職種の職員で当月の行事の反省や翌月の行事計画を確認し、インシデントの報告、気になる児童についての対応などを全体で議論している。</p> <p>職員会議は各クラスのできるだけ限られた職員でおこなうが、職員会議に参加しない担任職員には伝達や会議録の閲覧をして情報を共有している。パートや早朝、延長担当の職員についても、各クラス担任からの会議内容の報告や職員会議録を用いて、漏れなく伝わるようにしている。</p> <p>また、LINEでスタッフグループを作成し、周知事項や注意喚起事項などをタイムリーに全職員へ伝えるようにしている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
2	指導助言の実施体制	<p><b>職員が指導助言を受ける仕組みがありますか。</b></p> <p>☆ ■ ① 保育所内に指導助言を行う職員がいる</p> <p>■ ② 職員が抱えている課題に的確に応え，法人の理念や基本方針に基づいた指導助言を行う仕組みがある</p> <p>■ ③ 保育所長は，指導助言を求めてきた職員への対応の経過を把握している</p> <p>■ ④ 必要に応じて，専門職の指導助言を受ける仕組みを築いている</p> <p>■ ⑤ 指導助言の中で得られた解決策は，日々の保育に活かされている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>主幹保育教諭及び副園長または園長への報告、相談をこまめにおこなっている。各クラスの主担当が他の職員の課題や悩みを集約し、副園長または園長に報告し、必要な場合は職員会議の議題に上げ、多数の職員の意見を聞ける体制づくりをしている。</p> <p>また、園長に相談のうえ、必要に応じて福山市 保育指導課の担当者である保健師や栄養士、専門員に相談、指導を受けている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
3	個人情報の適切な取り扱い	<p>子ども（保護者等を含む）に関する情報（データを含む）は、適切に取り扱われていますか。</p> <p>☆■ ① 子どもに関する情報を記録するために、保育所として統一した様式を作成している</p> <p>■ ② 保管場所・保管方法を統一して定めるなど、情報の漏洩、放置、流出を防ぐ手段を講じている</p> <p>■ ③ 記録の記載方法に関する研修を定期的実施している</p> <p>■ ④ 保育所長は、職員が作成した記録を定期的確認している</p> <p>■ ⑤ 子どもに関する情報は、個別かつ一元的に管理されており、必要な時にすぐに見ることができる</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>児童に関する記録はすべて児童票に集録し、事務所の書庫で保管。管理については職員が自宅へ持ち帰るなど園からの持ち出しを一切禁止にしている。電子データについても同様で、貸し与えているUSBなどに記録し、事務所の書庫で管理、紛失がないよう確認している。児童票の記載方法については、新人職員にしていねいに書き方を説明し、主幹保育教諭及び副園長が定期的きちんとして記入されているかを確認している。その他の記録については、データ上で主幹保育教諭及び副園長がチェックをおこない印刷して、園長へ提出している。</p>

## 2. 子どもの発達援助

### (1) 発達援助の基本

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
4	保育課程	<p>保育課程は、関係法令や子どもの発達特性を踏まえ、長期的見通しをもって適切に編成されていますか。</p> <p>☆■ ① 保育課程は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している</p> <p>■ ② 保育課程は、全職員が参画し、共通理解と協力体制のもとで編成している</p> <p>■ ③ 保育課程における具体的なねらいや内容は、発達過程や年齢、個人差を踏まえた内容になるよう工夫している</p> <p>■ ④ 保育課程と指導計画には連動性を持たせている</p> <p>■ ⑤ 保育課程は、地域特性やこれまでの蓄積を生かした特色あるものになっている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>保育及び教育の内容に関する全体的な計画や教育課程については、幼保連携型認定こども園教育・保育要領や各法令に基づいて作成し、全職員に周知して各年齢の指導計画にも反映されるようにしている。また、保育及び教育の内容に関する全体的な計画や教育課程データは、保育計画を作成する際に活かせるよう、各担当がいつでも目を通せるようになっている。地域との関わりが多いため、地域行事も園活動の一環として位置づけたものとなっている。高齢者施設や医療施設との交流は、コロナウイルス感染拡大防止のため行うことができなかったが、以前同様に慰問に行けるようになった。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
5	指導計画	<p>指導計画は、定期的に評価および見直しが行われていますか。</p> <p>☆■ ① 指導計画の評価は、毎月1回、定期的に行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 指導計画の評価は、職員全員で行っている</p> <p>■ ③ 指導計画を見直す必要が生じた場合は、所定の手順で変更している</p> <p>■ ④ 指導計画に対する評価および見直しの結果は、次の計画作成に活かしている</p> <p>■ ⑤ 保育所長は、指導計画の評価および見直しにあたり、必要な指導を行なっている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	B	指導計画は、毎月必ず検閲し、各担当者と協議している。全職員で評価するのは物理的に不可能なので、職員会議等で翌月の検討を行っている。

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
6	理解と受容	<p>子ども一人ひとりへの理解を深め、受容していますか。</p> <p>☆■ ① 職員は、常に、子どもが安心して自分の気持ちを表現できるような態度で接している</p> <p>■ ② 子どもの要求や質問などに対して、何を求めているかを理解し、適切に対応している</p> <p>■ ③ 「早くしなさい」とせかさ言葉や、「だめ」「いけません」と制止する言葉を必要以上に用いないよう心がけている</p> <p>■ ④ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちを受け止め、言葉で表すなどしながら、適切に対応している</p> <p>■ ⑤ 登所中や保育中に泣く子どもに対して、放っておいたり叱ったりせず、状況に応じて、抱いたり優しく声かけをし、子どもの気持ちに寄り添うようにしている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	職員は、子どもたち一人ひとりについて、保護者からの聞き取りのなかで特徴を知り、気持ちを受け止め、楽しい一日となるよう努めている。毎月クラスごとに職員の自己評価（保育の振り返り）をおこない、職員会議で共有し、全職員で翌月の保育に活かせるようにしている。また、年に1度『保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト』による振り返りをおこない、施設長との面談をおこない、改善点や目標について話し合う。保育をするなかで保育教諭自身が保育業務に手一杯になって時間に追われ、子どもをせかしてしまったり、制止する言葉をつい使いすぎてしまうことがあるので、職員全体で気を付けて保育をしている。保育中に泣く子どもについては、課題のある子で気持ちの切り替えが難しい子に対してうまく対応できず、頻繁に泣くこともあるが、時には対応する職員を代えながら、できるだけ子どもの気持ちに寄り添うことができるよう心掛けている。職員会議では、クラスごとの気になる児童や配慮が必要な児童について、全職員で対応できるように話し合っている。

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
7	さまざまな人との交流	<p>さまざまな年代や文化を持つ人たちに親しみを持つよう働きかけていますか。</p> <p>☆■ ① 子どもが年代や文化、生活習慣の違いを理解できるよう働きかけている</p> <p>■ ② 保育所の中で、異年齢の子どもとの交流が行われるよう計画している</p> <p>■ ③ 保護者に対して、異年齢の子どもや年代の異なる人たちと交流する目的について説明を行っている</p> <p>■ ④ 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮を行っている</p> <p>■ ⑤ 意思疎通が困難な場合には、母国語による資料提供や筆談など、代替策を用意している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>老人施設や医療施設などへの慰問を通し、子どもたち自身が喜んでもらえるよう考えたり、意欲をもって取り組んでいる。</p> <p>朝の集まり、戸外遊び、行事、お店屋さんごっこ等で異年齢児の交流を楽しんでいる。また、その様子を参観で保護者に見てもらおう機会を設けたり、クラスだよりでその様子を写真付きで掲載している。</p> <p>外国籍の保護者への配慮としては、園からの発行物には、ふりがなをつけ、同時に口頭でも丁寧に説明している。書類の記入などは、必要に応じて園で職員が細かく説明しながら一緒に記入していく。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
8	先入観等を植え付けない配慮	<p>性差への先入観による固定的な概念や役割分業意識を植え付けないような配慮を行っていますか。</p> <p>☆■ ① 遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による押し付けをしないよう配慮している</p> <p>■ ② 順番、グループ分け、整列などは、性別にしないようにしている</p> <p>■ ③ 無意識のうちに性差による固定観念で保育を行わないため、職員研修を実施している</p> <p>■ ④ 子どもや保護者等に対して、父親・母親の役割を固定的に捉えた話し方、表現をしないようにしている</p> <p>■ ⑤ 育児、家事、介護、職業について、保育所は、固定的に捉えた話し方、表現をしないという姿勢を持っていることを、保護者等にも伝えている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>遊びや劇などの役、服装や持ち物を性別で分けることはしていない。最近では、母子家庭世帯の割合も増加傾向にあるので、父母を区別した対応や表現には注意している。</p>

(2) 健康管理・食事

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
9	健康状態の把握	<p><b>子どもの健康管理は、適切に行われていますか。</b></p> <p>☆■ ① 子どもの健康管理に関するマニュアルがある</p> <p>■ ② 既往症や予防接種の状況について、保護者等から必要な情報を得るようにしている</p> <p>■ ③ 子ども一人ひとりの健康状態に関する情報が関係職員に周知されている</p> <p>■ ④ 子どもの体調悪化・けがなどについては、特に留意して保護者等に伝えている</p> <p>■ ⑤ 必要に応じて、降所後の対応について職員間で話し合っている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>保健・衛生・安全管理マニュアル、その他保健衛生に関するマニュアルがある。</p> <p>既往症や予防接種の状況は入園時に児童票に記入してもらい、その後も保護者から報告を受け、記入している。</p> <p>子どもの健康状態は午後から来る職員や延長担当の職員にも細かく知らせ、しっかりと把握して子どもの様子を見ていけるようにしている。</p> <p>また、体調の変化やけがなどは降園の際にできるだけ細かく丁寧に保護者へ説明して、体調悪化やけがの具合によっては、降園後に職員で話し合い、保護者へ連絡を入れて、その後の様子を聞くなどの対応もしている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
10	健康診断等の実施	<p><b>健康診断や歯科検診を定期的に行っていますか。</b></p> <p>☆■ ① 健康診断は、年齢別に適切な回数で実施している</p> <p>■ ② 歯科検診が、定期的に行われている</p> <p>■ ③ 健康診断および歯科検診の結果は、全職員に周知されている</p> <p>■ ④ 健康診断および歯科検診の結果は、保育内容に反映されている</p> <p>■ ⑤ 健康診断および歯科検診の結果は、保護者等に伝えられている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>医科・歯科健診は年に2回実施。当日欠席した子や年度途中の入園の児童は、各家庭で嘱託医の病院へ連れて行って必ず受診してもらうようにしている。結果は連絡ノートに記入したり、『治療おすすめ券』を配布したりして保護者へ知らせている。職員への周知は、職員会議等で未受診児童や結果を報告している。</p> <p>各健診を通して子どもが自分の体に興味をもって健康な体づくりや虫歯予防を心がけられるよう、手洗いうがいの習慣、薄着の習慣、バランスのとれた食事、安定した生活リズムなど健康な生活の仕方を年齢に合わせて指導している。</p> <p>また、担任が子どもの前で歯の模型を使用して手本を見せたり、紙芝居や絵本、シアターなどを活用したりして歯みがき指導を行っている。</p> <p>尿検査、視力・聴力検査なども適切に実施して、同様に保護者へ結果を知らせている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
1 1	食事環境の整備	<p>子どもにとって、食事が楽しみとなるよう配慮していますか。</p> <p>☆ ■ ① 子どもが落ち着いて、楽しく食事ができるよう、テーブルや椅子、音などの環境を工夫している</p> <p>■ ② 発達に合わせた食事の援助を適切に行い、食事のマナーが身につくよう配慮している</p> <p>■ ③ 食べたいものや食べられるものが少しでも多くなるように援助している</p> <p>■ ④ 年齢や障害、疾病等により、食事に特別な配慮を必要とする子どもに対しても、食事を楽しめるよう工夫している</p> <p>■ ⑤ 職員は、子どもの食べる量や好き嫌いを把握している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>園全体にオルゴール調の音楽が常に流れており、落ち着いた環境づくりをしている。</p> <p>食事中は落ち着いて座り、楽しい雰囲気の中で食事ができるよう会話をしたり声をかけたりしながら、食事の仕方、マナーについて指導している。職員は子ども一人ひとりの食べる量、好き嫌いを把握し、子どもの意見を聞いて量を調節したり苦手なものも少しでも食べられるように言葉がけをしている。</p> <p>0歳児には離乳食を用意し、個々の進み具合や食べ方を把握し、保護者と連携しながら進めている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
1 2	食育の推進	<p>子どもが生活と遊びの中で、食事を楽しみ合うよう、働きかけていますか。</p> <p>☆ ■ ① 食事の提供を含めた「食育の計画」を策定している</p> <p>■ ② 地域のさまざまな食文化等に関心を持つことができるよう、食事内容や行事等の内容にも配慮している</p> <p>■ ③ 食事は、季節感のある献立や食材を利用している</p> <p>■ ④ 食材料の育成、食事を調べてくれた人への感謝の気持ちや命を大切にすることを育むよう働きかけている</p> <p>■ ⑤ 子どもたちが調理作業をしている場面を見たり、言葉を交わしたりできるような場面を作っている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>「食育の年間計画」を各年齢で作成している。そして、給食は行事にちなんだメニューを取り入れ、盛り付けも工夫している。</p> <p>給食のメニューだけでなく、クッキングでも旬の食材を利用し、旬の食材に親しみ、楽しんで調理して食べることで食への意欲を高めている。</p> <p>クッキングでは低年齢児は出来上がる工程を見たり、子どもが少しだけ手を加えて完成させたりしている。他の年齢は食材に触れ皮むきをしたり、実際に調理したりして調理作業に興味をもち、食べる楽しみを感じられるようにしている。</p> <p>4,5歳児はプランターで季節の野菜を栽培して、給食に一品加えたりクッキングで使用したりしている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
1 3	子どもの状況に応じた食事の提供	<p><b>アレルギー疾患や体調不良の子どもがいる場合、子どもの状況に応じた食事が提供されていますか。</b></p> <p>☆■ ① 除去食や特別食を提供する場合は、主治医の指示や指導を受けている</p> <p>■ ② 除去食の提供にあたっては、除去する食の選定に関する基準がある</p> <p>■ ③ 子どもが持つアレルギー疾患や体調についての情報を収集し、食材や調理方法を変えて提供している</p> <p>■ ④ 子どもに関わる全ての職員には、アレルギー疾患について必要な知識や情報が周知・共有されている</p> <p>■ ⑤ 除去食は、トレイの色を変えるなどして、子どもや職員が取り間違えないように配膳の工夫をしている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>食物アレルギー指示書を医療機関で記入してもらい、その指示書にしたがって食材の除去や調理方法を変えて提供している。また、登園可能な状態で普通の食事が食べられない時（病後で食欲が戻らない、歯の治療中など）に、食事内容の変更の対応している。</p> <p>アレルギー疾患についての知識や情報は、職員会議やミーティングで細かく報告し全職員で周知、共有している。</p> <p>除去食は名前などを記入したトレイに配膳し、子どもや職員が間違えないようにわかりやすくしてある。また、除去食のおかわりの皿もしっかりと分けてわかりやすくしてある。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
1 4	家庭との連携	<p><b>保育所で提供する食事について、保護者等に対して説明し、理解を得ていますか。</b></p> <p>☆■ ① 保護者等に対して、発育期にある子どもの食事の重要性や保育所での食事の取り組みについて説明している</p> <p>■ ② 保護者向けに試食の機会を設けるなどして、栄養、味付け、食べ方等の配慮内容を伝えている</p> <p>■ ③ サンプルを示し、その日の献立や量を保護者等に伝えている</p> <p>■ ④ 保護者から、子どもの食事について相談された場合は、相談内容にふさわしい職員が対応している</p> <p>■ ⑤ 連絡ノートや登所時の保護者からの話等を総合して、必要な場合には、食事量の調整を行っている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>毎月、園だよりや園のホームページの『わくわく給食だより』で、給食の工夫点や子どもが健康に成長するうえで大切な「食育」にまつわる情報を掲載。また、ホームページでは旬の食材や日本の食文化について、メニューや作り方なども掲載している。</p> <p>年に2回ほど給食参観を行い、その日の献立などを伝えて子どもの食事風景を見てもらい、園での取り組みを知ってもらう。保護者向けの試食は、年に1回行っている。</p> <p>また、給食やクッキングの内容で子どもが喜んでおり家庭でも作ってみたいという保護者からの声には、全世帯に参考にしていただけるよう、その都度材料や作り方をPDFで配信している。</p> <p>保護者から食事について相談を受けた場合は、保育教諭のほかに質問の内容によっては福山市保育指導課の担当栄養士に相談して対応している。</p>

(3) 保育環境

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
15	空間の確保	<p>保育所は、子どもが心地よく過ごせるような空間が確保されていますか。</p> <p>☆■ ① 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持されている</p> <p>■ ② 保育所内外の設備、用具等の衛生管理に務めている</p> <p>■ ③ 戸外の遊具等が設置され、安全管理、点検が行われている</p> <p>■ ④ 本を読んだり、絵を描いたり、創作活動が自由にできるスペースがある</p> <p>■ ⑤ 季節の移り変わりが感じられるような環境となるよう工夫している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>全室エアコンを完備し、温度管理をして、換気は30分から1時間に1回おこなうよう徹底している。</p> <p>毎日、保育室と用具や遊具などの消毒をおこない、衛生管理に努めている</p> <p>午睡時にはカーテンを閉め、オルゴール調の音楽を流し、眠りやすい環境を作っている。</p> <p>屋上には三輪車などの遊具があり、安全点検チェックシートに基づいて、定期的に室内遊戯場の遊具とともに点検を行なっている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
16	設備・環境	<p>保育所は、子どもたちの心身の安らぎ、くつろぎの面から配慮された場所となるよう、工夫されていますか。</p> <p>☆■ ① 子どもが不安になった時などにいつでも応じられるよう、保育者が身近にいる</p> <p>■ ② 眠くなったときに安心して眠ることができる空間が確保されている</p> <p>■ ③ 庭など、屋外での活動の場が確保されている</p> <p>■ ④ 一人ひとりの子どもがくつろいだり落ち着ける場所がある</p> <p>■ ⑤ 自然物を取り入れるなど、季節にあわせた保育環境が工夫されている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>眠くなったときに安心して眠れる空間は、各保育室で確保するのは難しいので、0歳児スペースに行って落ち着いた雰囲気の中で眠れるようにしている。</p> <p>園庭は小さいが砂場もあり、0、1歳児専用の庭も設けている。また、屋上でも遊べるよう設計されている。</p> <p>季節にあわせて花壇に花を植えたり、プランターで野菜を栽培したりしている。</p> <p>各クラスで壁面飾りをしたり施設内に吊り装飾をしたりして、季節を感じられるように保育環境を工夫している。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
17	保育環境の整備	<p>子どもが自発的に活動できる環境を整える工夫を行っていますか。</p> <p>☆■ ① 子どもが自由に遊べる時間が確保されている</p> <p>■ ② 子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるよう工夫している</p> <p>■ ③ 好きな遊びができる環境が整えられている</p> <p>■ ④ 職員全員が、子どもが自発性を発揮できるような働きかけをするよう心がけている</p> <p>■ ⑤ 子どもの発達段階に即した玩具や遊具が検討され、用意されている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>1日の活動のなかで自由あそびの時間が必ずあり、好きなあそびを友だちと楽しめるようにしている。</p> <p>遊具や用具は子どもの発達段階や興味に合わせて用意し、自由に取り出せるようにしてある。また、子どもの自発性を大切に、やってみたい、遊んでみたいと思えるような玩具や遊具も用意し、様々なあそびを楽しめるようにしている。</p>

#### (4) 保育内容

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
18	社会的なルールや態度の獲得	<p>子どもが、望ましい社会的なルールや態度を身につけるよう、働きかけていますか。</p> <p>☆■ ① 職員は、常に公平で温かい態度や言葉づかいで子どもに接し、信頼関係を築くようにしている</p> <p>■ ② 順番を守る等、社会的ルールを身につけるよう配慮している</p> <p>■ ③ 当番活動などが日常生活の中で行われている</p> <p>■ ④ 一人ひとりの子どもの自主性を尊重し、家庭と連携しながら子どもの状況に応じた対応をしている</p> <p>■ ⑤ 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会を設けている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>職員は公平で温かい態度や言葉づかいで子どもに接するように常には難しいが、職員間で注意し合いながら心がけている。園長または副園長から子どもへの望ましい態度や言葉づかいについて指導をすることもある。</p> <p>順番等の社会性ルールについては、生活やあそびのなかで日常的に知らせていっている。3歳児からは当番活動をおこない、自分でできることを少しずつ増やしていき、保護者にも、年齢に合わせて親の手助けを調整したり、お手伝いも頼んだりすることで、自分でできたという達成感を味わい、子どもの意欲を引き出せるようにクラス懇談会などで話をしている。</p> <p>普段から近隣の公園を利用させてもらうなかで、公共の場所での過ごし方やマナーを身に付けている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
19	表現活動	<p>身近な環境の中で、感覚を豊かにしたり、活動を楽しめるよう働きかけていますか。</p> <p>☆■ ① 身近な自然と関わる機会をつくり、子どものさまざまな興味を引き出すようにしている</p> <p>■ ② 生活や遊びを通して、数・量の感覚が身につくように工夫している</p> <p>■ ③ 身体を使ったさまざまな表現遊びが取り入れられている</p> <p>■ ④ クレヨン、絵の具、粘土、紙等の素材は、子どもが自由に選択できるよう、常に複数種類を用意している</p> <p>■ ⑤ 絵本の読み聞かせ、お話、紙芝居などを日常保育の中に取り入れている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>園周辺の散歩や近隣の公園に出かけた際などに身近な自然に気づかせ、親しめるようにしている。</p> <p>生活やあそびを通して数や量の感覚が身につくように環境や遊びを工夫している。特に4、5歳児は遊びのなかでしぜんに文字や数に興味をもてるような活動を取り入れ、5歳児は文字指導などで数の理解を深めるとともに、就学に向けてひらがなやカタカナの読み書きができるようにしている。</p> <p>保育活動のなかでリズムあそびのほかに、専門講師によるダンス教室、リトミックを取り入れて、さまざまな表現遊びが楽しめるようにしている。</p> <p>素材の選択については、子どもたちが自由に選びイメージして表現できるよう用意されている。</p> <p>絵本や紙芝居の読み聞かせなどは、活動の導入の際や睡眠前、生活指導などで常に取り入れている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
20	人間関係	<p>遊びや生活を通して、人間関係が育つよう働きかけていますか。</p> <p>☆■ ① 職員は、子ども同士の関係をよりよくするような、言葉かけを行っている</p> <p>■ ② 子ども同士のけんかの場面では、危険がないように配慮しながら、子ども同士で解決するように援助している</p> <p>■ ③ 子どもが自分の気持ちを安心して表すことができるよう働きかけている</p> <p>■ ④ 自分の言いたいことが相手に伝わる喜びを味わう体験ができるように配慮している</p> <p>■ ⑤ 子どもの発達段階に応じて、見守り、共感、励ましなど、やる気を育てるような働きかけをしている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>職員は子ども同士の関わりを大切にして、仲間意識を高め、友だちへの思いやりの気持ちを持てるように言葉かけや援助をおこなっている。</p> <p>子ども同士のけんかの場面では、年齢に応じて危険のないように見守ったりアドバイスしたりして、互いの気持ちに気づき、自分たちで解決していけるような援助をしている。</p> <p>自己主張をあまりしない子や自分の気持ちを上手く表現できない子には、状況や仕草などから、その子の気持ちを汲み取ったり、尋ねたりして保育教諭が代弁しながらも、少しずつ自分で気持ちを伝えられるようにし、伝える喜びを味わい自信がもてるようにしている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
2 1	乳児保育	<p><b>乳児保育のための環境が整備され、保育内容や方法に配慮していますか。</b></p> <p>☆■ ① 一人ひとりの生活リズムに合わせた保育を行っている</p> <p>■ ② 全職員にSIDSに関する知識が周知され、予防のための取り組みが行われている</p> <p>■ ③ 授乳は、一人ひとりの状況に応じて、子どもが安心できる環境に配慮し、ゆったり飲ませている</p> <p>■ ④ 離乳食は、家庭と連携して提供するようにしている</p> <p>■ ⑤ 保護者と継続的な関わりが持てるよう、配慮している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>乳児の睡眠、授乳、遊びは一人ひとりの生活リズムに合わせて行っている。</p> <p>授乳は一人ひとり抱いてゆったりと言葉がけをしながら飲ませている。授乳室はないが騒がしさや周りが気になって飲まない子は部屋の隅に行くなどして、落ち着いて飲めるよう配慮している。</p> <p>SIDSに関する知識や予防については、職員会議の安全保育等で取り上げ、全職員に周知している。また、乳児状態確認表をつけ、15分毎(睡眠時は5分毎)に子ども一人ひとりの様子を確認し記録している。</p> <p>常につつぶせ寝になりやすい子もいるので、特に注意して観察するようにしている。</p> <p>離乳食は保護者に「食材チェックシート」や「家庭における食品摂取の状況調査表」を記入してもらい、面談を行って家庭でのすすみ具合や調理形態などについて細かく聞き取りをして、個々に応じて調理し提供している。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
2 2	長時間保育	<p><b>長時間保育のための環境が整備され、保育内容や方法に配慮していますか。</b></p> <p>☆■ ① 長時間保育を受ける子どもに夕食や軽食を提供している</p> <p>■ ② 畳やじゅうたん、ソファなど、寝転ぶことのできる環境がある</p> <p>■ ③ 異年齢の子ども同士が遊べるよう配慮している</p> <p>■ ④ 保護者との連携を密に取り、子どもの生活のリズムに配慮している</p> <p>■ ⑤ 職員の引継ぎ（申し送り）を適切に行っている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>18時以降の延長保育では、お菓子とジュースのおやつを提供している。</p> <p>活動や時間帯によってはじゅうたんやフロアマットを用意している。</p> <p>早朝保育、延長保育ともに混合クラスになるので、異年齢の関わりを大切にしながら、安全に気をつけて遊べるようにしている。</p> <p>子どもの生活リズムについては、低年齢児は睡眠・食事・排泄など細かく連絡ノートに記入してもらい、園からも細かく記入して連携を図っている。基本的には9時までに登園してもらい、早寝・早起きの習慣をつけてもらう。</p> <p>早朝担当や延長担当の職員への申し送りは担任が丁寧に行い、子どもの体調変化に気をつけてもらったり、保護者への伝達事項を伝えてもらったりする。</p> <p>また、次の日の早朝担当への緊急な申し送りについては、伝達票などを使用してきちんと伝えられている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
2 3	障害児保育	<p><b>障害児保育のための環境が整備され、保育内容や方法に配慮していますか。</b></p> <p>☆■ ① 建物、設備は、バリアフリーの配慮を行っている</p> <p>■ ② 障害児保育に携わる職員は、障害児保育に関する研修を受講している</p> <p>■ ③ 必要に応じて、医療機関や専門機関から助言、指導を受けている</p> <p>■ ④ 保護者に対して、適切な情報を伝える取り組みをしている</p> <p>■ ⑤ 障害のない子どもの障害児への関わりに対して配慮している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>施設はエレベーターがあり、バリアフリーの配慮が行なわれた建物になっている。心身の発達上課題のある児童や障害のある児童の保育にあたっている職員は、すすんで障害児保育に関する研修を受講している。</p> <p>一人ひとりの医療機関や専門機関などの関係機関を把握し連携を取りつつ、必要に応じて保護者からや直接機関から助言や指導を受けられるようになっている。障害のない子どもが障害のある子どもへの理解ができるように関わり方についても、その都度知らせている。</p>

### 3. 子育て支援

#### (1) 保護者等への支援

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
2 4	信頼関係の構築	<p><b>保護者等の気持ちに共感しながら、信頼関係を築くよう努めていますか。</b></p> <p>☆■ ① 送迎時の会話や連絡帳を活用して、子どもの様子を伝えている</p> <p>■ ② 入所までの生活歴や家庭での状況を把握している</p> <p>■ ③ 保育参加(観)を行うなどして、保護者と共通理解を得る機会を設けている</p> <p>■ ④ 保護者の意向を踏まえて、個別面談を実施している</p> <p>■ ⑤ クラス全体の様子を伝える保護者懇談会等を実施している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>送迎時は車が込み合う為、速やかに車の移動をしてもらえるようにしなければいけないが、保護者との会話をできるだけ大切に、一日の子どもの様子を話し、連絡ノートでもしっかりと連携が取れるようにしている。</p> <p>入園説明の際や個人懇談の際に『家庭における状況』の聞き取りを行い、発育状況やなりやすい症状、睡眠、食事などについて把握する。</p> <p>継続児童も希望に応じて園での個人懇談をおこなっている。</p> <p>入園児童の個人懇談を希望される世帯はその都度行っている。個人懇談を希望されない世帯には「家庭における状況」を配布して保護者に記入してもらい、聞き取りとする。また、連絡ノートなどでもやり取りをして、保護者の悩みや園への質問意見や要望を聞いている。</p> <p>保育参観は定期的に行ない、園での子どもの様子を見てもらったり一緒に活動を楽しんでもらったりできるようにしている。また、参観後にはクラス懇談会を実施し、クラス全体の様子を伝えるとともに、保護者同士の話し合いの場になるようにしている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
25	保護者等との連携、共有	<p><b>子どもの生活の連続性を踏まえ、保護者等との連携および情報共有が行われていますか。</b></p> <p>☆■ ① 連絡帳（ノート）やメール等を活用し、情報共有するようにしている</p> <p>■ ② 「園(クラス)だより」や「お知らせ」により、保護者等に対して保育や行事についての意図を伝えている</p> <p>■ ③ 定期的に、アンケートを行い、保育方針に対する保護者の理解度や保護者の保育ニーズを把握している</p> <p>■ ④ 保護者と子どもの生活ぶり、成長等に関する情報を常に共有するようにしている</p> <p>■ ⑤ 長期欠席等に対しては、連絡をとり、個別に相談の機会を設けている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>情報提供は連絡ノートだけでなく、ホームページも活用している。</p> <p>子どもの生活ぶりや成長に関することは送迎時の会話や連絡ノートで共有できるようにしている。そのなかで、連絡ノートでの言葉の表現には十分に気を付けて記入するようにして、こちらの趣旨や思いがきちんと伝わるようにしている。</p> <p>保護者アンケートを年度末に行うとともに、クラス懇談会の際に園やクラスへの意見・要望の聞き取りを行っている。</p> <p>保護者からの連絡がなく欠席した児童には連絡を入れ、休んでいる理由や様子を確認するようにしている。長期欠席の児童については、繰り返し連絡を入れたり、連絡がつかない場合には、家庭訪問に行くこともある。相談については、日時の調整を行ない、速やかに相談の機会が設けられるようにしている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
26	相談・情報提供	<p><b>保育に関する知識や技術を活かして、保護者等からの相談にあたっていますか。</b></p> <p>☆■ ① 保護者等からの相談に応じる体制を作っている</p> <p>■ ② 保育に支障をきたさない範囲で、相談の曜日や時間は、相談者の意向を汲んで対応している</p> <p>■ ③ 相談者に提供できるような子育て支援のための資料を作成している</p> <p>■ ④ 相談内容の記録は、記載内容にバラつきが生じないための工夫を行い、適切に保管している</p> <p>■ ⑤ 相談を受けた職員が適切に対応できるよう、助言（スーパービジョン）が受けられる仕組みがある</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>保護者には日ごろから気軽に相談してもらえるよう信頼関係をきずき、コミュニケーションをとるようにしている。</p> <p>改めて相談の機会をもちたいという方には、保護者の日時などの意向を聞いて保育に支障をきたさない範囲で日程調整をして行なっている。</p> <p>相談内容の記録は、児童票のなかにファイルし保管している。</p> <p>相談を受けた職員がすぐに対応できる内容でないときには、副園長または園長へ報告し助言を求め対応している。ケースによっては、相談の場に担任だけでなく、副園長や園長も同席することがある。</p> <p>相談者に提供できるような子育て支援のための資料については、園にある資料だけでなく、場合によっては市に問い合わせ資料を取り寄せて提供している。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
27	不適切な養育に対する支援	<p><b>虐待等，不適切な養育が行われている可能性があると感じた場合は，速やかに対応していますか。</b></p> <p>☆■ ① 子どもの心身の状態を定期的，継続的に観察し，必要に応じて随時把握し，記録している</p> <p>■ ② 日々の登所・帰所時などの様子から，保護者等と子どもの関係を観察している</p> <p>■ ③ 不適切な養育の可能性があると感じた場合は，速やかに保育所内で情報共有し，対応を協議している</p> <p>■ ④ 保育所での対応に限界がある場合は，関係機関に通報している</p> <p>■ ⑤ 虐待を発見した場合は，速やかに市区町担当者や子ども家庭センターに通報している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>毎日の視診・触診で子ども一人ひとりの状態を把握している。トイレや着替えの際などには衣服で隠れている部分も観察するようにしている。また，必要に応じて保護者に聞き取りをしたり記録をしたりしている。</p> <p>家庭で過剰に子どもを叱ったりケガをさせたりすることもあるので，そのようなことを職員が把握した場合は，速やかに園長に報告し，保護者へ気をつけてもらうようにや子育てで困ったことがあれば相談してもらえるよう言葉をかけ，園内で情報共有したうえで経過観察を行なう。</p> <p>また，衛生面が気になる児童に対しても，副園長と担任で保護者へ清潔にしてもらうよう話をし様子を見ていっている。</p> <p>虐待や不適切な養育が行われている場合は，細かなことでも速やかに福山市・ネウボラ推進課へ相談及び報告をする。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
28	虐待等への対応	<p><b>虐待を受けている子ども（虐待の可能性がある場合を含む）に対して，適切に対応していますか。</b></p> <p>☆■ ① 虐待を発見した場合は，得られた情報が速やかに保育所長に届く体制がある</p> <p>■ ② 虐待を発見した場合の対応等について，マニュアルがある</p> <p><input type="checkbox"/> ③ マニュアルにもとづいて，職員研修を行っている</p> <p>■ ④ 職員は，虐待が疑われる子どもの特徴を理解している</p> <p>■ ⑤ 日頃から，関係機関と連携を図るための取り組みを行っている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	B	<p>担任または受け入れ職員が虐待を発見した場合は，すぐに園長へ報告するように周知しており，どんな細かいことも報告している。</p> <p>福山市の虐待対応マニュアルを全職員で周知してその都度対応しているが，マニュアルにもとづいての職員研修まではおこなっていない。</p> <p>内容や対応について職員会議で取り上げることはある。</p> <p>虐待が疑われる子どもについても，すぐに園長へ報告し，福山市・ネウボラ推進課へ相談及び報告して，連携をとるようにしている。</p> <p>現在では施設の報告義務として，細かなことでもネウボラ推進課へ報告するようになっている。</p>

#### 4. 子どもの安全

##### (1)安全・事故防止

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
29	食中毒・感染症対策	<p><b>食中毒や感染症に対する予防および発症後の対策は、適切に行われていますか。</b></p> <p>☆■ ① 食中毒や感染症に関する予防マニュアルおよび対策マニュアルを作成している</p> <p>■ ② マニュアルは、職員に周知されている</p> <p>■ ③ 子どもに対して、食中毒・感染症予防に関する教育を行っている</p> <p>■ ④ 保護者等に対して、食中毒・感染症に関する普及啓発を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 職員の健康状態をサービス提供日ごとにチェックし、体調の悪い職員の交替基準を明確にし、運用している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	B	<p>「給食衛生管理マニュアル」、「厚生労働省の保育所における感染症対策ガイドライン」、「安全保育マニュアル」や「危機管理マニュアル」がある。</p> <p>マニュアルは職員がいつでも目を通せるよう職員室の書庫で保管している。</p> <p>子どもへは日頃からせっけん手洗い・うがいの大切さを知らせ、食中毒が発生しやすい時期、感染症が流行しやすい時期には、食中毒の危険性や丈夫な体づくりなどについても教育している。保護者へも食中毒予防や感染症予防に関して園だよりやクラスだよりでお知らせしている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
30	事故・天災への対応	<p><b>事故や天災が発生した場合、速やかに対応できる体制がありますか。</b></p> <p>☆■ ① 子どもの状態急変や事故発生等、緊急時の対処方法や連絡先などのマニュアルがある</p> <p>■ ② 子どもの緊急連絡先を把握している</p> <p>■ ③ 職員は、救急救命法についての研修を受講している</p> <p>■ ④ 火災や地震を想定した避難訓練を定期的実施している</p> <p>■ ⑤ 保育所内で起きた「ヒヤリ・ハット事例」を蓄積し、事故発生を未然に防ぐための検討をしている。</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>「安全保育マニュアル」、「危機管理マニュアル」がある。</p> <p>子どもの緊急連絡先は児童票に記入してもらい、それに基づき保護者緊急連絡一覧表を作成している。変更があった場合はすぐに報告してもらっている。</p> <p>消防署の救急隊員による『普通救命講習』や『赤十字救急法(幼児安全法)短期講習』に、受講したことのない職員はすすんで受講するようにしている。</p> <p>火災・地震・河川堤防決壊・防犯の緊急時避難訓練を毎月実施している。</p> <p>「ヒヤリ・ハット事例」については、毎月職員会議で報告をし、職員全員で危険性を把握して、未然に事故を防ぐための検討をしている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
3 1	不審者対策	<p><b>不審者の侵入などに対応できる体制がありますか。</b></p> <p>☆■ ① 不審者等の侵入防止策（出入り口の施錠，通報システム等）が講じられている</p> <p>■ ② 不審者の侵入時における対応マニュアル（園内・園外）が整備されている</p> <p>■ ③ 不審者対応マニュアルは，職員に周知されている</p> <p>■ ④ 不審者の情報が，関係機関や近隣住民等から得られるネットワークがある</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 警察や警備会社等との連携のもとで，マニュアルにもとづく研修が行われている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	B	<p>門は全て施錠してあり、それでも不審者が侵入するようなことがあれば、施設全体に不審者の存在を知らせる設備がある。</p> <p>不審者への対応マニュアルがあり、園外保育の際での不審者対応は散歩マニュアルに記載してある。</p> <p>不審者情報は福山市 保育施設課及び保育指導課からメールが届くようになっている。</p>

## 5. 地域との関わり

### (1) 関係機関および地域との連携

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
3 2	関係機関との連携協力	<p><b>子ども家庭センター，要保護児童対策地域協議会，小学校等と連携し，必要に応じて協力体制を築いていますか。</b></p> <p>☆■ ① 障害や発達上の課題がみられる子どもとその保護者等には，専門機関を紹介し，一緒に支援している</p> <p>■ ② 小学校児童と保育園児の交流行事を行ったり，定期的に情報交換するなど，小学校との連携体制がある</p> <p>■ ③ 関係機関や専門機関などと定期的に情報交換するなど，ネットワークを築いている</p> <p>■ ④ 要保護児童対策地域協議会の構成メンバーとなり，要保護児童の早期発見や保護に協力している</p> <p>■ ⑤ 行政の支援の下に子どもの育ちを伝えるための資料（保育要録など）が小学校に送付されるような体制を作っている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>障害や発達上の課題がある子は福山市 保育指導課の担当保健師などに相談しながら、保護者に専門機関を紹介して経過把握をおこない、専門機関と連携したり、保護者から機関とのやり取りや援助の仕方などを聞いたりして、園での支援や対応を検討している。ケースによっては、職員が保護者や子どもと一緒に専門機関へ行くこともしている。</p> <p>小学校との交流行事は少ないが、入学式への参加、8月と10月に互いの職員が小学校と園の様子を見学するなどしている。</p> <p>その他にも、幼保小連携教育合同協議会に担当者が参加し、講話を聞いたり、小学校との情報交換、子どもの姿の交流や互いのカリキュラムの把握、連携接続に向けた計画の話し合いなどをおこなっている。</p> <p>また、就学前には「新1年生連絡会」に参加している。</p> <p>こども園園児指導要録を作成して各小学校へ送付し、個別の対応が必要な子どもに関しては、電話で子どもの姿や援助について連携をとっている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
33	地域の子育て支援	<p><b>地域の子育て支援の拠点として、子育て家庭に対して保育所機能を還元していますか。</b></p> <p>☆■ ① できる範囲で、保育所を利用していない子育て家庭からの相談に応じようとしている</p> <p>■ ② できる範囲で、園庭開放、子育てセミナー等を行うようにしている</p> <p>■ ③ できる範囲で、一時保育、交流保育等を行うようにしている</p> <p>■ ④ 緊急入所については、関係機関と連携し、柔軟かつ速やかに行われるよう努めている</p> <p>■ ⑤ 地域の子育て支援ニーズについて、職員が話し合う機会を定期的に設けている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>地域子育て支援拠点事業 かもめサークルに取り組み、園を利用していない家庭からの相談に応じたり、保護者や子ども同士のコミュニケーションの場になるようにしている。</p> <p>かもめサークルでは園庭・屋上開放や室内あそびなどいろいろなあそびを取り入れ、月1回は保護者のためのさまざまな講座も設けている。</p> <p>一時保育も随時受け付けて、緊急入園の希望にも関係機関と連携し、柔軟かつ速やかに受け入れができるよう努めている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
34	一時保育	<p><b>一時保育のための環境が整備され、保育内容や方法に配慮していますか。</b></p> <p>☆■ ① 一時保育の子どもと通常保育の子どもとの交流に配慮している</p> <p>■ ② 一人ひとりの子どもの日々の状態を把握している</p> <p>■ ③ 一時保育の担当者が決められている</p> <p>■ ④ 保護者とのコミュニケーションを十分にとっている</p> <p>■ ⑤ 必要なケースについて、相談に応じている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>年齢に応じてクラスへ入るため、通常保育の子どもとの交流は常にある。</p> <p>一時保育の予約の際には、今までの保育経験や子どもの様子、疾病やアレルギーの有無などの聞き取りをし、子どもの状態をしっかりと把握して預かるようにしている。</p> <p>送迎時の際には子どもの様子をしっかりと伝え合い、コミュニケーションをとっている。特に初めて利用される方には、園での子どもの様子を丁寧に伝え話しをしている。また、必要に応じて相談にも応じられるようになっている。</p>